

事務事業評価における総括

部 局 名	こども育成部	記入責任者	高木 邦喜
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>こども育成部の業務計画に位置付けた事業は 21 事業あり、S 評価が 15 事業、A 評価が 5 事業、B 事業が 1 事業と多くの事業で指標を達成し、成果をあげることができました。また、業務計画に位置付けていない事業も概ね S 評価となっており、今後についても、より充実した子育て施策の遂行を目指し、着実に業務を行っていきます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>C 評価となった「幼稚園預かり保育補助事業」については、認定こども園へ移行予定の幼稚園が先行して長時間預かりを行う際に運営費の補助を行う事業ですが、土曜日の長時間保育など、実施が困難な条件があったことから、実績がない結果となりました。平成 30 年度は、土曜日の条件を外し、認定こども園へ移行する幼稚園だけでなく、幼稚園のままで長時間預かりを実施する場合や認定こども園の幼稚園部分の子どもを長時間預かる場合も対象にするなど、待機児童の解消を図りつつも実施しやすい環境を整えたことから、今後の成果が見込める C 評価としたところです。</p> <p>また、相談援助については指標の達成率のみでは評価が難しい部分がありますが、こどもセンター、家庭児童相談室とも、複雑・多様化する相談に対し、有資格の非常勤職員が連携・協力し、適切に支援に当たり、成果に繋がっていると認識しています。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>子どもを取り巻く状況が日々変化していく中、支援体制の充実を図るために、子どもの貧困対策として「子どもの未来応援庁内連絡会議」及び部会を開催して、実態調査や関係課、関係機関との連携を強化するとともに、取組内容を分かりやすく市民に周知します。</p> <p>児童虐待の問題に関しては、児童相談所との連携を一層強化するとともに、職員及び相談員の専門性の維持・向上に努め、30 年度に設置する「子ども家庭総合支援拠点」のもと適切に対応してまいります。</p> <p>保育所等の待機児童については年々減少しており、全体として積極的に事業に取り組んでいる成果が出ていると考えられます。31 年 4 月の待機児童解消に向けて、引き続き保育所等の整備や保育士の確保対策について取り組みを進めていきます。また、児童クラブについても、待機児童が年々増えていることから、「茅ヶ崎市児童クラブ待機児童解消対策」に基づき、対策に取り組んでまいります。</p> <p>指標を達成し、成果をあげた事業等については継続して進めていくほか、子育てに関する様々なニーズを把握し、部局内での連携を強化していき、「茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画」をもとに、安心して子どもを育てられる環境整備に努めてまいります。</p>			

